

産業廃棄物処理業

経営塾

令和6年度（第20期生）募集要項

自分の使命に、夢と誇りを。



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

開塾のごあいさつ

産業廃棄物処理業経営塾
塾長

岡山大学 名誉教授・
公立鳥取環境大学 名誉教授



田中 勝

2004年から毎年開塾していた産業廃棄物処理業経営塾が2019年末からの新型コロナウイルス感染者の爆発的な増加の影響を受け、2020年度は開塾出来ませんでした。しかし2021年度から感染拡大防止に努めつつ開塾して産業廃棄物処理業の健全な発展に貢献しています。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻し、2023年10月にイスラエルとイスラム組織ハマスが戦闘状態になり、77年間続いた戦争の無い平和な地球が戦争状態になり、武力攻撃で多くの人が殺され大量の戦争廃棄物が発生している状況が続いています。その影響で食料や燃料の供給が一時的に断たれエネルギー危機や食料危機がもたらされました。日本は原子力発電所の建て替えと運転期間の延長という政策転換でエネルギー問題と気候変動の問題の解決が現実味を増し、廃棄物からのエネルギー利用も益々重要になってきています。

経営塾では産業廃棄物処理業界に『社会の潮流を読み、将来の実行可能な事業企画案を書き、企業の競争力を高める成長戦略』という「読み、書き、そろばん」が出来る人材を育てることが出来ればと願っています。「読む」という意味には、日本語や外国語を読めると

ということもありますが、人の気持ちを読む力も重要です。次に「書く」ですが、企業の将来ビジョンを描き、それを達成するシナリオを「書く」ことが経営者にとっては重要です。「そろばん」は、多くの選択肢から何を選択すれば企業の競争力を高め成長することが出来るかを判断する能力です。経済的な側面だけでなく、社会の信頼を確保するための判断が出来ることがますます重要になってきたと思われまます。このように企業人として人間力を兼ね備えた「読み、書き、そろばん」の能力を高めていただきたいと思います。

国連は持続可能な開発目標SDGsを掲げて、世界の国々や企業、個人に取り組みを求めています。皆の努力で世界は平和な社会、豊かな社会になるでしょう。その結果、世界の人口は増加し経済成長とともに人々の購買力は向上し、社会でより多くのモノが生産・消費され廃棄物の増加が見込まれます。廃棄物工学研究所の推計予測では世界の廃棄物排出量は2020年には140億トン/年が2050年には320億トン/年となります。廃棄物処理業界により、これらが回収され、リサイクル、焼却処理等中間処理や最終処分がされます。一方、限られた資源や環境容量を持っている地球の存続のために、私たちの豊かな生活を維持しながら資源を大切に、環境を大切に作る社会、すなわち循環経済社会の構築が求められており、それには廃棄物分野の高い技術やノウハウを生かした戦略的なマネジメントが求められています。

廃棄物処理業界におられる皆さんは、世界が求めている循環経済社会の構築に貢献することができるのです。このように重要な廃棄物処理業界で活躍できることを誇り(Pride)に思い、欧米の企業に負けない一流の企業に成長することを夢(Dream)見て、また廃棄物処理は私たちの責任でやり遂げるという使命感(Mission)を持ってもらいたいと思います。この誇り、夢、使命感のPDMを大切にしてください。PDMを常に心に抱けるように経営塾で学んで欲しいと思います。

産業廃棄物処理業経営塾について

塾長

岡山大学 名誉教授・
公立鳥取環境大学 名誉教授

田中 勝

副塾長

(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

室石 泰弘

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長

長谷川 雅巳

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

岩田 元一

事務局

名称 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

設立 平成4年12月3日 財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
平成24年4月1日 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
(公益財団法人移行認定)

指定 産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律第16条に基づく厚生大臣指定法人(平成4年12月24日:厚生省収生衛第1073号)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第13条の12に基づく産業廃棄物適正処理推進センターとしての厚生大臣指定法人(平成10年7月1日:厚生省収生衛第879号)

「産業廃棄物処理業経営塾」に入塾すると…

1 各分野の専門家による実践的なカリキュラムを提供

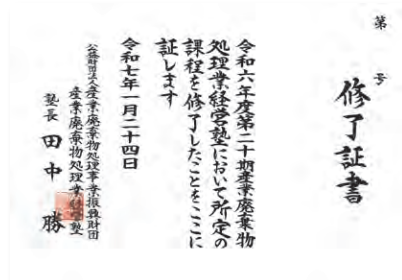
第20期 日程及びカリキュラム

開催日	時間	カリキュラム	単位	
6/13(木)	開塾式 12:30~	開塾式		
	1限目 13:30~15:30	産業廃棄物処理事業概論	2	
	2限目 15:50~17:10	産業廃棄物処理業①	2	
6/21(金)	1限目 10:30~11:50	労働安全・人材活用①	2	
	2限目 12:50~14:50	コンプライアンス①	2	
	3限目 15:20~17:30	意見交換会他		
7/11(木) 12(金)	11日 10:30 集合 12日 17:00 解散	夏季合宿研修	8	
8/2(金)	1限目 10:30~11:50	経営者に期待すること①	2	
	2限目 12:50~14:10	労働安全・人材活用②	2	
	3限目 14:40~16:00	産業廃棄物処理技術①	2	
8/30(金)	1限目 10:30~11:50	コンプライアンス②	2	
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物処理技術②	2	
	3限目 14:40~16:40	産業廃棄物にかかる法制度・行政①	2	
9/19(木)	1限目 10:30~11:50	財務・金融①	2	
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物処理技術③	2	
	3限目 14:40~16:00	産業界・排出事業者①	2	
9/20(金)	1限目 10:30~11:50	コンプライアンス③	2	
	2限目 12:50~14:10	財務・金融②	2	
	3限目 14:40~16:00	財務・金融③	2	
10/11(金)	1限目 10:30~11:50	財務・金融④	2	
	2限目 12:50~14:10	経営者に期待すること②	2	
	3限目 14:40~16:00	産業廃棄物にかかる法制度・行政②	2	
10/24(木) 25(金)	24日 12:00 集合 25日 17:00 解散	秋季合宿研修	8	
11/14(木)	1限目 10:30~11:50	産業廃棄物処理技術④	2	
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物処理業②	2	
	3限目 14:40~16:00	産業界・排出事業者②	2	
11/15(金)	9:00~17:30	施設見学(城南島東京スーパーエコタウン)	6	
12/12(木)	10:30~16:20	AI・IoT / SDGs(選択制)	6	
12/13(金)	1限目 10:30~11:50	労働安全・人材活用③	2	
	2限目 12:50~14:10	産業廃棄物にかかる法制度・行政③	2	
	3限目 14:40~16:00	経営者に期待すること③	2	
		卒塾レポート提出(必須)	卒塾面談(必須)	合計
令和7年 1/24(金)	15:30~16:45	卒塾式	78	

*都合により、カリキュラムの日程入れ替えや講師を変更する場合がございます。 *卒塾に必要な単位数:66単位以上

2 「修了証書」を授与

卒塾生には「産業廃棄物処理業経営塾」修了証書を授与いたします。この修了証書が優良な経営責任者として評価され、施設建設や事業運営に際しての信用力としても活用されています。また、その信用力を担保するため、入塾資格を審査すると共に、個別に卒塾面談を行い、卒塾生の資質を高めるよう配慮しています。



*修了証書は見本です。

3 「経営塾OB会ホームページ」による塾生同士の交流活性化ならびにネットワークの強化

希望者は卒塾後に経営塾OB会に入会できます。OB会ホームページでは、以下の内容で情報発信を行っています。

- OB会に関する最新情報、OB会員向けのニュースや関連情報を適宜掲載
- OB会が主催するイベント情報の告知ならびに出欠申込
- OB会全体・部会・各ブロックの活動報告
- OB会参加企業のインタビュー記事を掲載



6/13 木

開塾式
12:30~1限目
13:30~15:302限目
15:50~17:10

1 限目 講義 産業廃棄物処理事業概論



最初の講義として、当財団の事業並びに経営塾の講義概要、産業廃棄物処理業の展開状況や制度・国際的な動向を鳥瞰すると共に、産業廃棄物処理の経営などの今日的潮流を講義。

講師 田中 勝 塾長／岡山大学 名誉教授・公立鳥取環境大学 名誉教授

64年京都大学卒業、70年米国ノースウェスタン大学大学院修了。70年米国ミシガン州立ウェインステイト大学助教授、76年厚生省国立公衆衛生院廃棄物工学部長、岡山大学、公立鳥取環境大学の教授を歴任。環境省中央環境審議会・廃棄物・リサイクル部会長、東京都廃棄物審議会会長、廃棄物学会会長等を務めた。07年に設立した(株)廃棄物工学研究所・代表取締役研究所長、88年に発足した有害・医療廃棄物研究会会長を務めている。



講師 室石 泰弘 副塾長

(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

62年金沢市生まれ。86年厚生省環境整備課入省。補佐時代10年間廃棄物分野に在籍、ダイオキシン対策室長、地球温暖化対策課長等を経て、東日本大震災以降は福島復興に携わり、16年環境省大臣官房審議官、18年福島地方環境事務所長、21年環境再生資源循環局長。22年10月から現職。



講師 長谷川 雅巳 副塾長

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長

69年三重県生まれ。92年経団連入局。以後、対米欧経済関係、GATT等の担当を経て、消費者契約法、議員立法による商法改正、独禁法等を担当。米国留学、内閣府独禁法基本問題検討室出向等を経て、07年から16年3月まで、気候変動、震災後のエネルギー問題、循環型社会形成等を担当。その後、消費者法、会社法、独禁法、金融資本市場、Society 5.0 for SDGsに関する東大・GPIFとの共同研究を経て、20年より現職。



講師 岩田 元一 副塾長

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

79年~14年環境庁/環境省(地下水・土壌環境室長、大気環境課長等)。この間、千葉県、水産庁、公害等調整委員会事務局、国立環境研究所、環境再生保全機構、日本環境安全事業(株)、インドネシア国環境管理庁(JICA専門家)等に
出向・派遣。14年6月~19年6月(公財)廃棄物・3R研究財団。19年6月から現職。

2 限目 講義 産業廃棄物処理業 ①

会社経営と経営塾OB会の役割

会社経営と経営塾OB会活動を両立することにより、相互で重要なポイントが見えてくる。“たかが会ごと”ではあるが、社内に引きこもっては見えてこない“何か”を皆様に発見して頂くための講義。

講師 片瀬 則人 興徳ホールディングス(株) 取締役

81年大阪生まれ。04年東海大学体育学部卒業後、イギリスのバース大学で柔道コーチとして留学。留学中は様々な国に柔道着を持って訪問し視野を広げる。07年に(株)興徳クリーナー入社、21年(株)ケーシーエス代表取締役就任。廃棄物処理物流の課題解決に注力し、廃棄物管理ソフト販売の(株)イー・ガジェットの営業も担当。(公社)大阪府産業資源循環協会組織広報委員会副委員長としても活動。産業廃棄物処理業界への多角的な取り組みを進めている。

6/21 金

1限目
10:30~11:50

2限目
12:50~14:50

3限目
15:20~17:30

1 限目 講義 労働安全・人材活用 ①



労働安全についての概要

前段で、産廃処理業に関する労働安全の注意点と、他業種での事故事例を中心に労災事故防止について。後段で、最近とみに増加している社員の精神衛生についての管理と対処法について講義。

講師 市川 博昭 NTS総合社会保険労務士法人 代表社員

青山学院大学法学部卒業。90年都市銀行入行。98年JASDAQ総合商社 総務部転職。00年社会保険労務士合格、翌年開業。07年特定社会保険労務士登録。16年当法人代表、現在に至る。

2 限目 講義 コンプライアンス ①



事例に学ぶ廃棄物管理【グループ討議】

講師 長岡 文明 BUN環境課題研修事務所 主宰

80年山形県技術吏員として入庁。09年文化環境部循環型社会推進課課長補佐を退職。05年より環境省環境調査研修所講師、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター講習会テキスト編集委員、(一財)日本環境衛生センター専任講師、栃木県環境審議会専門委員を務める。著書に、「土日で入門、廃棄物処理法」(日環センター)、「廃棄物処理法問題集」(産環協)、「対話で学ぶ、廃棄物処理法」(クリエイティブ日報)などがある。

3 限目 講義 意見交換会他

7/11 木 12 金

11日
10:30集合

12日
17:00解散

研修 夏季合宿研修【ホテル プラザオーサカ(大阪)】

- ① 塾生企業の紹介
- ② グループ討議(テーマ別)

8/2 金

1限目
10:30~11:502限目
12:50~14:103限目
14:40~16:00

1 限目 講義 経営者に期待すること ①



産業資源循環の課題と方向

産業廃棄物処理業が、処理の「受け手」から資源・エネルギーの「創り手」へ変貌する中、業界においては、人材の育成・確保、労働災害の防止、脱炭素化の推進、災害廃棄物処理への貢献など課題が多い。課題解決に向けて業界の振興の方向を講義。

講師 室石 泰弘 (公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

プロフィールは、P3の6/13講師欄をご参照ください。

2 限目 講義 労働安全・人材活用 ②



産業廃棄物処理業者の自発的な行動を促す「環境デザイン」

産業廃棄物処理業界の「社会的地位向上」から「社会的に価値を提供できる」業界へ、評論家ではなく実践者としての認識と責任。そして、行動を考える講義。

講師 中野 宇喬 (株)東伸サービス 代表取締役

65年愛知県生まれ。大学卒業後、アパレル輸入業に従事。90年(株)東伸サービス入社、07年代表取締役就任。業界活動として、I.P.G(Industrial waste Professional Group)「産業廃棄物専門家集団」を01年に立ち上げ(現在13社加盟)、17年から会長就任。(一社)愛知県産業資源循環協会副会長。

3 限目 講義 産業廃棄物処理技術 ①



産業廃棄物処理技術<最終処分>

産業廃棄物処理技術のわが国の第一人者である講師から、最新の最終処分技術とその動向、最終処分の視点から処理事業経営者として踏まえておくべき事項を講義。

●「廃止」できる最終処分場を前提とした施設建設と維持管理 ●埋立ごみの質の変化に対応した管理技術(塩類、アルカリ問題) ●埋立再生と資源化 ●資源保管と最終処分 ●最終処分場における脱炭素技術

講師 樋口 壮太郎 福岡大学 名誉教授

72年福岡大学工学部土木工学科卒業。同年日本技術開発(株)入社。97年九州大学大学院博士後期課程修了。01年福岡大学工学部教授着任。02年より19年まで同大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻、地域環境専修教授兼任、資源循環・環境制御システム研究所所長。現在、名誉教授、審議会等委員多数歴任。著書に「Municipal Solid Waste Landfill Technology in Japan」(Springer)、「最終処分技術」(環境技術支援ネットワーク)、「浸出水処理技術ハンドブック」(環境産業新聞社)、「最終処分場の計画と設計」(日報)等多数。

8/30 金

1限目
10:30~11:50

2限目
12:50~14:10

3限目
14:40~16:40

1 限目 講義 **コンプライアンス ②**



リスクマネジメント

廃棄物処理業の鍵となる信頼確保のため、契約書及びマニフェストの管理の注意点、他法令を含めたコンプライアンスの課題と対応、顧客及び住民等からのクレームを受けた場合の対応、行政指導、立入検査への対応等のリスク管理について、事例を参考に講義。

講師 **佐藤 泉** 佐藤泉法律事務所 弁護士

第一東京弁護士会所属。主な業務：環境問題、特に廃棄物処理法及び土壌汚染対策法その他の環境関連法についての、紛争解決及び法律相談。第一東京弁護士会：環境保全対策委員会委員、東京都廃棄物審議会委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員。

2 限目 講義 **産業廃棄物処理技術 ②**



脱炭素における産廃処理施設の方向性

環境省が示した「廃棄物・資源循環分野における2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた中長期シナリオ(案)」について、特に産業廃棄物処理施設に関する事項を読み解きつつ、近年の事例を交えて、脱炭素社会における産業廃棄物処理施設の方向性について講義。

講師 **田邊 陽介** (株)環境と開発 代表取締役

00年熊本大学理学部物理学科卒業。同年(株)バスコ入社。01年(株)環境と開発入社。07年代表取締役就任。東京・熊本に事業所を有し、産業廃棄物処理施設の設置に係るコンサルティングを中心に事業を展開。事業の可能性調査から配置計画策定、生活環境影響調査、許認可手続きまで一貫して対応している。熊本地震・西日本豪雨などの災害廃棄物処理に係るコンサルティングも行っている。

3 限目 講義 **産業廃棄物にかかる法制度・行政 ①**



地方における廃棄物行政

一層信頼される処理業者を目指して、現場の事例を踏まえたコンプライアンスに関する講義。

講師 **是永 剛** 長野県 環境部 水大気環境課長

91年長野県職員拝命。県庁、出先機関において産業廃棄物の許認可、監視指導業務を中心に環境行政に携わる。19年長野県諏訪地域振興局環境課で環境行政全般を担当。出版など：「簡単ガイド廃棄物処理法直近改正早わかり」(06年日本環境衛生センター執筆協力)、「廃棄物処理法いつ出来た？この制度」(08年日本環境衛生センター共同執筆)、「ここまでわかる！廃棄物処理法問題集」(10年産業環境管理協会 共同執筆)。委員など：04年～環境省環境調査研修所「産業廃棄物アカデミー」講師。03～07年環境省「今後の産業廃棄物行政のありかた研究会」委員。14年信州大学非常勤講師。

9/19 木

1限目
10:30~11:50

2限目
12:50~14:10

3限目
14:40~16:00

1 限目 講義 **財務・金融 ①**



産業廃棄物処理業者の事業承継・相続

産業廃棄物処理事業者が陥りがちな事業承継及び相続に関する諸問題について、実際に起こった事例を紹介しながら具体的な解決策を講義。自社株対策、銀行取引への対応、オーナー経営者の相続対策、事業承継税制など、産業廃棄物処理業者の事業承継を総合的に取り扱う。

講師 **西村 敦正** 税理士法人BAMC 代表税理士

04年同法人設立。税理士法人を経営する傍ら、事業経営及び財産管理に関する総合コンサルティング業務を展開。国内3拠点(東京、札幌、名古屋)及び海外(台湾)に事業所を構える。社員数60名(うち税理士6名)、顧問先数は約2,500件。専門分野は相続・事業承継対策であり、これまで携わった相談は3,000件を超えている。また不動産に関する相談にも精通。

2 限目講義 産業廃棄物処理技術 ③



産業廃棄物処理技術<焼却・熱回収>

廃棄物焼却施設を中心とした熱処理及び熱回収プラントの計画から運営までの経済面と技術面に関する講義。

講師 吉光 由美子 (株)アクトリー プラントグループ プロセス設計室室長

99年(株)アクトリームラタ(現・(株)アクトリー)入社。

3 限目講義 産業界・排出事業者 ①



戸田建設の廃棄物管理業務の電子化への取り組み

戸田建設では、廃棄物管理業務の効率化、コンプライアンス向上のため、マニフェスト、委託契約の電子化を推進している。建設業界において電子契約の普及率が低い中で一定の成果を上げている、戸田建設の電子契約への取り組みについて講義。

講師 高橋 昌宏 戸田建設(株) 本社建築環境・品質管理部環境管理課 課長

02年戸田建設(株)東京支店入社。環境管理部門にて建築施工部門における廃棄物管理に従事。03年より本社建築環境・品質管理部にて、全社の建築施工部門に係わるISO14001対応、廃棄物管理、土壌汚染対策等の環境管理業務に携わり、現在に至る。12年より日本建設業連合会・環境委員会・建築副産物部会の委員、21年より副部会長を務める。

9/20 金

1限目
10:30~11:502限目
12:50~14:103限目
14:40~16:00

1 限目講義 コンプライアンス ③



廃棄物処理法遵守の心得

廃棄物処理法の趣旨、法遵守の必要性、「行政処分の指針」の概要、裁判例を踏まえた欠格要件などを中心に廃棄物処理法を体系的に講義。廃棄物処理業におけるコンプライアンスの重要性を再認識する。

講師 鈴木 道夫 橋元総合法律事務所 弁護士

87年中央大学法学部法律学科卒業。88年司法試験合格。89年最高裁判所司法研修所司法修習生(第43期)。91年弁護士登録(東京弁護士会)。02年東京弁護士会常議員。12年最高裁判所司法研修所民事弁護教官(~15年)。04年産業廃棄物適正処理推進センター運営協議会委員長(現職)。08年(株)JTB社外監査役(現職)。19年東京弁護士会司法修習委員会委員長(~20年)。

2 限目講義 財務・金融 ②



産業廃棄物処理業者として東証一部上場までの道のり

産業廃棄物処理業者として上場を目指し、17年に名証第二部へ上場。3年連続最短で東証第一部へ上場するまで、管理部(財務・経理・総務)管掌役員、代表取締役社長としての内部管理体制の整備や、組織再編を含めた上場に耐えうる組織経営について講義。

講師 加藤 恵子 (株)ミダックホールディングス 代表取締役社長

93年佐藤澄男税理士事務所(現・税理士法人名南経営)入所。01年税理士登録。02年公認会計士・税理士祖父江良雄事務所(現・デロイト トーマツ税理士法人名古屋事務所)入所。06年(株)ミダックホールディングス入社。取締役経理統括部長、16年同社管理部長に就任。17年名古屋証券取引所市場第二部へ株式上場。18年東京証券取引所市場第二部へ上場。19年同社代表取締役社長に就任。東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部に指定。22年東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミアム市場に移行。

3 限目 講義 財務・金融 ③



産業廃棄物業界におけるM&Aについて

M&Aは企業を成長させるために欠かせない戦略になってきた。今までに産業廃棄物業を中心に赤字企業を含む6社のM&Aを実施し、全てを1年以内に黒字化させた経験を元に、M&Aの基礎からPMI(買収後の事業統合)の重要性まで講義。

講師 尾崎 俊也 アースサポート(株)代表取締役社長

92年三和銀行(現:三菱UFJ銀行)入行。退職後に米国ロチェスター大学経営大学院でMBAを取得。96年6月にアースサポート(株)に入社し、02年11月社長就任。業界活動では11年7月から2年間、全国産業廃棄物連合会青年部会長を務め、18年から(一社)しまね産業資源循環協会会長。

10/11 金

1限目
10:30~11:50

2限目
12:50~14:10

3限目
14:40~16:00

1 限目 講義 財務・金融 ④



産業廃棄物処理事業の財務

財務諸表の読み方・解き方の基本を概説し、産廃業の収集運搬・中間処理・最終処分毎に、財務諸表からみた特徴や平均像について紹介し、事業改善のポイント等について講義。

講師 大城 清也 大城公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士

85年早稲田大学社会科学部卒業。98年(株)共栄経営研究所入社。同年公認会計士登録、大城公認会計士・税理士事務所設立。02年(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 債務保証事業審査委員(財務担当)就任。自動車リサイクル法の制定に深くコミットするなど、環境政策における税制上の諸課題について、多方面にアドバイスを行っている。

2 限目 講義 経営者に期待すること ②



リサイクル事業の新たな展開

19年4月に発足した「J&T環境」の経営方針及び事業内容の説明に併せ、リサイクル事業と電力事業のシナジー例やプラ新法に対応したリサイクル事業への取り組み等を講義。

講師 露口 哲男 J&T環境(株) 特別顧問(常勤)

83年慶應義塾大学経済学部卒業。同年日本鋼管(株)入社。00年環境ソリューションセンター企画営業部、03年JFEホールディングス(株)環境ソリューションセンター企画部、09年エネルギー本部 エコパワー事業部長、11年常務執行役員 海外事業本部副本部長、15年常務執行役員 アクアソリューション本部長、16年専務執行役員 アクアソリューション本部長、17年専務執行役員 環境本部副本部長、18年取締役専務執行役員 リサイクル・発電事業本部長、19年J&T環境(株)代表取締役社長、24年特別顧問(常勤)。

3 限目 講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政 ②



日本の資源循環経済政策について

近年では、廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要と地政学的なリスクの高まりといった資源制約の観点から、サーキュラーエコノミーへの移行が喫緊の課題となってきた。本講義では、我が国における資源循環経済政策の最新動向について講義。

講師 田中 将吾 経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課課長

01年経済産業省入省。08年ロンドン大学(UCL)留学(MSc Public Policy)、10年経済産業政策局 調査課 課長補佐(計量担当)、13年商務情報政策局 情報通信機器課 総括補佐、15年経済産業政策局 産業再生課 総括補佐、16年大臣官房 会計課 政策企画委員、17年資源エネルギー庁 長官官房 総務課 調査広報室長・需給調整室長(兼任)、17年資源エネルギー庁 長官官房 総務課 戦略企画室長、20年JETROベルリン 次長兼産業調査員、22年現職。

10/24 木 25 金

24日
12:00集合25日
17:00解散

研修

秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田(大阪)】



① 取組事例紹介 災害廃棄物の初動について

熊本地震、西日本豪雨、佐賀県武雄大町豪雨、人吉豪雨の初動から現場に入り、様々な問題を経験した観点から、今何をすべきで、業界に何を伝えるべきかを講義。

講師 石坂 繁典 (協)石坂グループ 環境事業本部 環境事業部 部長

トヨタ・東レなどの愛知県の工場関連の保全メンテナンスや機械導入を行う会社に入社。制御盤の制作やシーケンサープログラムを行う会社に転職。現場での機械・電気技術を習得後に、同社エコポート九州を立ち上げ、熊本地震～人吉豪雨など様々な災害現場の立ち上げ、RitaテクノロジーのイノベーターとしてAIロボットの制作等を歴任。現在、環境省の指針である地域循環共生圏やプラ新法に関わる新事業の計画を自社で担当する傍ら、メジャー企業、自治体のリサイクル施設のコンサル会社の運営も行っている。



② 合宿研修【中長期ビジョンの策定と経営戦略の立案】

規制業界ならではの視点に注目しながら、経営の重要資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を計画的に扱い、安定した経営を実現させる標準的手順を講義。単なる講義だけでなく、グループでディスカッションを交えながら実践に活用できるような学習を深めていく。テキストには『中期経営計画の立て方・使い方』を使用する。要事前学習。

講師 中尾 光宏 パスファインダー・コンサルティング 代表

89年北海道拓殖銀行入行。97年からゲーム会社の人事・採用、ゲームベンチャーの創業、上場IT企業のCFOなど経営管理業務全般に従業。08年の独立後からは買収先企業やIPO準備企業などの管理系構築を常勤で支援。研修では管理職育成や経営計画立案などを中心に手掛ける。神戸大学大学院経営学研究科修了。同志社大学、帝塚山学院大学、国立明石高専専攻科非常勤講師を歴任。

11/14 木

1限目
10:30～11:502限目
12:50～14:103限目
14:40～16:00

1 限目 講義

産業廃棄物処理技術 ④



産業廃棄物処理技術<破碎・選別>

破碎装置及び選別装置の各機種別の特徴と導入に係る機種選定のポイントや、世界の最新技術について講義。

講師 高野 晃 (株)リョーシン 取締役副社長

80年石川県生まれ。04年(株)リョーシン入社。客先での問題解決に最適なプラント・装置の提案及び営業員の育成を日常業務とし、能力や安全性に於いて世界最先端の技術を組込んだプランニング業務に携わる。

2 限目講義 産業廃棄物処理業 ②



地方であり地域の専門業者としての役割と取り組み

地元で創業し50年以上続けられる理由や、時代の流れに置いていかれないよう取り組んできた事を講義。

講師 高山 盛司 環境開発(株) 代表取締役社長

68年石川県金沢市生まれ。89年地元建設会社入社。94年内川建設(株)入社、04年代表取締役就任。05年環境開発(株)取締役、11年代表取締役就任。22年石川県産業資源循環協会会長就任。

3 限目講義 産業界・排出事業者 ②



ネスレのサステナビリティ戦略

ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれからの世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」の存在意義を掲げ、事業を通じて社会課題を解決する共通価値の創造(CSV)のアプローチを実践している。日本での取り組みの一つとして、プラスチックごみ問題への取り組みを講義。

講師 嘉納 未来 ネスレ日本(株) 執行役員 コーポレートアフェアーズ統括部長

01年ネスレ日本入社。消費者対応部門やカスタマーリレーションシップマーケティング部門、お客様相談室長、メディアリレーションズ室長、エクスターナルリレーションズ部長を歴任し、17年8月より現職。社内外の広報を統括し、社員、メディア、行政、有識者、NPO、地域コミュニティをはじめとする社内外のステークホルダーとの関係構築に取り組んでいる。

11/15 金

9:00~17:30

施設見学 城南島東京スーパーエコタウン



12/12 木

取組事例
10:30~11:50グループ討議
12:50~14:50発表
15:20~16:20

ワークショップ(選択制) AI・IoT / SDGs

①取組事例



AI・IoT

身近なAIから学ぶ!
廃棄物処理業における
AI・IoT活用の可能性

人手不足への対策や生産性向上のカギとして注目されているAI・IoTの活用。既に利用が進んでいる分野もあるが、資源循環業においては「これから」といえる。本講義は、身近なAIやIoTの体験やグループでのディスカッションを通じて、廃棄物処理業での活用の可能性を考える。

講師 鈴木 貴 (株)JEMS 常務取締役

79年茨城県出身。約20年前に(株)エジソン(現・(株)JEMS)に入社。以降、処理業者向けの基幹システムの提案から導入に至るまで、営業・SE・開発・サポートと全ての工程を経験。延べ286社のシステム導入を支援し、IT技術だけでは本質的な業務改善は難しいことを実感。改善のスタートは、IT化ではなく運用の見直しからと考えている。20年事業本部取締役本部長、22年1月から常務取締役に就任。



SDGs

資源循環業界が担う
社会責任～SDGsによる
ブランディング戦略とは

世界共通のゴールであるSDGsとはなにか。17のゴールの中で産業資源循環業界に期待される役割を担い企業価値を構築していくためには。環境ビジネスとブランディングについて、中小企業である自社の事例を交えて講義。

講師 山口 玉緒 (株)エンタープライズ山要 代表取締役

16年代表取締役就任。大阪府産業資源循環協会 女性部副会長、NPO 事業継続推進機構 幹事、防災士、事業継続管理者、職場備蓄管理者、備蓄収納1級プランナー、環境省登録 環境カウンセラー、環境教育インストラクター、SDGsアドバイザー。

②グループ討議

③発表

12/13 金

1限目
10:30~11:502限目
12:50~14:103限目
14:40~16:00

1 限目 講義 労働安全・人材活用 ③



産業廃棄物処理業(当社)における人財育成への取り組み

社会のインフラを支える我々の業界は、収集運搬や処分、そして関連する技術開発や事務管理業務に至るまで、全て「人」がいて成り立っている。「人を育て、人を創り、人で勝負する会社を目指す」という理念のもと、人財育成の取り組みを、当社の事例を交えて講義。

講師 高橋 潤 高俊興業(株) 代表取締役社長

73年生まれ。96年大学経営学部商学科卒業。96年建設会社入社。00年高俊興業(株)入社、15年代表取締役社長就任。現在の社外活動:(一社)廃棄物処理施設技術管理協会副会長、(一社)東京都産業資源循環協会理事、建設廃棄物委員長、(公社)全国産業資源循環連合会 業務主任者試験等準備検討委員会委員、人材育成方策調査検討委員会。

2 限目講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政 ③



産業廃棄物処理行政の現状と今後の展望について

我が国の産業廃棄物処理行政の担当部署の責任者から、廃棄物処理法の内容、PCB廃棄物処理、循環型社会の構築に向けた産業廃棄物処理業の振興方策、CEおよび脱炭素社会構築に向けた取り組み等について講義。

講師 松田 尚之 環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課長

96年4月、厚生省(現:厚生労働省)採用。福島環境再生事務所調整官(中間貯蔵施設総括担当)、環境再生・資源循環局浄化槽推進室長、大臣官房総合環境政策統括官グループ環境計画課長などを経て、22年7月より現職。

3 限目講義 経営者に期待すること ③



“理念体系に基づく経営改革の実践”
Sustainability(持続可能)からRegeneration(再生)へ

資源循環型社会では、廃棄物の再資源化にとどまることなく、設計や製造の段階から循環を考えたものづくりが求められている。「Zero Waste Design」のビジョンのもと、全ての地表資源が循環する社会の実現を目指す取り組みについて講義。

講師 石坂 典子 石坂産業(株) 代表取締役

92年父が創業した石坂産業に入社。02年社長就任。工場の全天候型化、ISO7種統合導入、海外50カ国の視察受入など改革を実施。隣接する里山を再生した「三富(さんとめ)今昔村」で、生物多様性AAA認証や環境省「体験の機会の場」認定を受け、環境教育を展開。「Zero Waste Design」をビジョンとし、海と陸を保全する「30by30」への参画や、再エネ100%を導入し、脱炭素にも取り組む。「2020年度 日本経営品質賞」受賞。経産省産業構造審議会臨時委員。資源循環小委員会委員。

必修

卒業レポート提出 (必須)

必修

卒業面談 (必須)

※日程は個別に設定

令和7年 1/24 金

卒業式 15:30~16:45



産業廃棄物処理業 経営塾OB会

運営/活動内容

経営塾OB会は自主的かつ独立した運営を行っており、各卒業期の代表からなる幹事会において年間活動計画を立案し、運営しています。
主な活動としては、見学勉強会、全国の卒業生のネットワークを活かして、業界のさらなる発展を目指す地域別ワークショップ活動や、関係省庁・団体への提言等の情報発信を行っています。

主な年間行事

- 定時総会
- 見学勉強会
- 地域別ワークショップ活動(年数回)
- 成果発表会・賀詞交歓会
- テーマ別勉強会等
- オンラインサロン

卒業生間の連携とネットワークの強化を主として、産業廃棄物処理業の成長・発展のための行政、排出事業者等への提案・情報等を発信しています。

日 程

令和6年6月～令和7年1月(8ヵ月間)

講 義 数

26講義+合宿研修(2回)+施設見学

講 義 時 間

通常講義

1限目 10時30分～11時50分
 2限目 12時50分～14時10分
 3限目 14時40分～16時00分

会 場 (講義&合宿研修)

講 義 会 場



(公財)産業廃棄物処理事業振興財団内 会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階



最寄駅：東京メトロ銀座線 虎ノ門駅(9番出口)より徒歩1分
 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線 霞ヶ関駅より徒歩5分
 都営地下鉄三田線 内幸町駅より徒歩5分
 東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅より徒歩6分
 JR線・都営浅草線 新橋駅(日比谷出口)より徒歩10分

合 宿 研 修



夏季合宿研修【ホテル プラザオーサカ】

〒532-0025 大阪府大阪市淀川区新北野1-9-15
 TEL.06-6303-1000



秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田】

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町1-12
 TEL.06-6312-3200(代表)

募集要項

応募資格

以下のいずれかに該当する者であること。また、①及び②に該当する者が勤務する企業においては、過去5ヶ年にわたって廃棄物処理法などの法令違反に問われていないこと。

- ① 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の経営者または経営の一翼を担っている者。
- ② 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の技術面における統括管理者であり、産業廃棄物処理に関する技術資格を有する者。
- ③ 産業廃棄物処理業に準ずる豊富な経験を有し、今後、産業廃棄物処理業に新規参入を検討している企業において、①・②の条件に対応した要件を満たす者。
- ④ その他、本塾生として受講を認める相当の理由があるとして塾長が認められた者。

受講料

66万円(税込)

(受講料にはテキスト代、合宿研修費等が含まれています。)

*今年度より受講料を改定いたしました。

申し込み方法

提出書類

入塾願書と顔写真2枚(4cm×3cm)

応募締切

令和6年5月17日(金)まで

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

選考方法

当財団の審査により選考いたします。

支払方法

請求書を送付いたします。

(全額前納とし、納入後は事情によらず原則として返金はいたしません。)

入塾までの流れ

入塾願書提出

下記書類を事務局までお送りください。

1. 入塾願書
2. 顔写真2枚(4cm×3cm)

1枚は入塾願書に貼り付け、
1枚は同封してください。

入塾審査結果をご連絡いたします。

受講料の支払い

入塾者に請求書を送付いたします。期日までに受講料を指定口座にご入金ください。なお、振込手数料は恐れ入りますが、貴社にてご負担ください。

入塾式の案内を送付いたします。

お問い合わせ・願書提出先

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-18

ヒューリック虎ノ門ビル10階

TEL.03-4355-0155

事務局／兼子・青木

E-mail : jyuku@sanpainet.or.jp

- 受講に関しては**原則、当財団会議室にて対面で行います。**ただし、やむを得ない場合は、WEB受講も可能です。(WEB受講のツール手段として、Webexを用いて行います。)
- 受講時は、マスクの着用や消毒をお願いする場合があります。
- その他、不明な点につきましては、当財団ホームページをご覧ください。

URL : <https://www.sanpainet.or.jp/>



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階
Tel.03(4355)0155

URL <https://www.sanpainet.or.jp>